

令和8年3月3日

保護者 様

香取市立山田小学校
校長 小山田貴久男

令和7年度 学校評価に関するアンケート結果について（お知らせ）

立春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育に対しまして、ご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。さて、先日ご協力いただきました学校評価アンケートにつきまして、集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

学校評価（保護者）アンケート

A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない

	設 問	R 7 年度				肯定的評価の割合	
		A	B	C	D	R 7	R 6
1	教育目標や学校経営の方針を理解している。 (学校だより・学年だより・学校ホームページ・PTA全体集会等での説明など)	33%	59%	6%	1%	93%	95%
2	地域の教育力（人材等）を積極的に取り入れた学校経営が行われている。	46%	46%	7%	1%	92%	90%
3	お子さんは、安心して登校している。	65%	31%	4%	0%	95%	97%
4	学年だよりや学校だより、ホームページ等で児童の様子をよく見ている。	49%	44%	7%	0%	93%	95%
5	相談要望の窓口がわかり話がしやすい環境である。	40%	46%	13%	1%	86%	93%
6	お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	35%	48%	15%	2%	83%	93%
7	お子さんは、友達と仲良く遊んだり、友達を大切に思う言動を取ったりしている。	59%	40%	1%	0%	99%	92%
8	お子さんは、体を動かすことに前向きである。	60%	28%	12%	0%	88%	88%
9	お子さんは、学年相応の学力が身に付いている。	39%	43%	15%	3%	82%	90%
10	特別な教育的配慮が必要な児童を含め、その子にあった個別指導を行っている。	39%	54%	6%	1%	93%	90%
11	学校とPTAや地域は、目指す児童の姿を共有している。	30%	59%	10%	1%	89%	94%
12	お子さんが、毎日楽しく登校し、学校や学級を楽しみにしていると感じている。	55%	35%	9%	1%	90%	92%
13	お子さんは自分から先に元気にあいさつしている。	26%	41%	28%	5%	67%	81%
14	宿題や自主学習など、家庭で一定の時間学習している。	36%	45%	18%	1%	81%	82%
15	基本的な生活習慣（早寝早起き朝ご飯）が定着している。	41%	40%	19%	0%	81%	87%
16	学校は整理整頓されており、子どもが学習するのに適した環境である。	61%	39%	0%	0%	100%	93%
17	家庭・学校・地域連携推進事業（家庭教育学級や地域交流）で学んだり、知識として得たりしたことは、子育てに役立っている。	34%	58%	7%	1%	92%	94%

<考察>

○全体的には、「Aそう思う」「Bややそう思う」という肯定的な回答を合わせると、17項目中9項目が90%以上、7項目が80%以上となっており、概ね学校の取組や児童の成長の姿に対してご理解いただけていると考えます。また、令和6年度の評価と比較すると、4項目において「肯定的な回答」の割合が増えています。設問7「友達との関わり」と設問16「学習環境」については、昨年度よりも7%増えました。ご家庭でのご協力もいただきながら一歩ずつ前進していると考えますが、継続して取り組む課題でもありますので、今後もよりよい取組を模索しつつ努力してまいります。

○設問6及び9の回答より、児童にとってより分かりやすい授業の展開が必要と考えております。また、学習したことをしっかりと身に付ける手立てを講じていかなければなりません。単に知識を与えるだけの授業でなく、児童が主体的に課題を見出し、様々な解決方法を思考できるよう、学習形態等の工夫を行ってまいります。

○設問5の回答より、相談窓口の周知徹底及び相談しやすい雰囲気づくりの必要性があると考えております。児童や保護者からの相談は担任が受けることが多いですが、場合によっては専門性の高いスクールカウンセラーや養護教諭、特別支援教育コーディネーター等、相談内容によって担任以外にも相談は可能です。

○設問11の回答より、地域や家庭と学校が両輪となって子ども達を育てていくことの重要性から、より多くの場面で周知していく必要性を感じております。毎月発行している学校だよりにおきましても、次年度より掲載していく方向で改善していきます。

○設問15の回答より、基本的な生活習慣の確立は、学校生活だけでなく今後子ども達が社会の一員となるにあたって大切なことです。学校でも前日の睡眠不足や朝食の欠食が原因と思われる、体調不良を訴える児童が散見されます。決まった時間での起床、食事の摂取、入眠は、健全な心身育成に欠かせないものでありますので、保健教育全体を通して引き続き指導してまいります。ご家庭でもご協力よろしくお願いいたします。

○設問16の回答では、肯定的な回答が100%でした。保護者の皆様には、校地の環境整備に多大なるご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。学校においては、「物の乱れは心の乱れ」ととらえ、4月より下駄箱に入れた靴のかかとをしっかりと揃えることから指導しています。児童が落ち着いて学習に取り組むためには、整理整頓された環境が不可欠ですので、引き続き環境整備には力を入れてまいります。

○項目13の回答が最も低い値となりました。職員のアンケート結果でも60%、また児童の回答の中にも、「あいさつを元気よくする。」とあるように、三者ともに課題と感じている部分であります。「あいさつ」は社会生活の基本であり、場合によってはその人の信頼度すら左右するものだと考えております。児童によっては、十分にしていると自己評価している子もおりますが、相手に伝わってこそそのあいさつであることを指導しています。アンケート全体を見渡しても、この項目が際立っており、次年度は中心に据えて指導してまいります。ぜひ、ご家庭においても様々な場面で「あいさつ」することの習慣化が図れるよう、声かけをお願いいたします。

○今回の結果を真摯に受け取り、今後一層誠実に向き合い、家庭や地域との連携を深めてまいります。